

I 「多忙化改善に向けた取組方針」を着実に推進し、深掘りした取組を進めていく。

1. 授業や校務のICT化を積極的に進める。

- ・ 1人1台端末を活用した職員会議や授業におけるペーパーレス化の進展
- ・ 全日制高等学校及び錦丘中学校へ採点業務省力化ソフト導入【資料3】 など
- 自動採点・自動集計・生徒用端末へ返却可能

2. コロナ禍での対応を今後の多忙化改善に生かす。

- ・ Zoom等による研修のライブ配信や会議のオンライン化 など

3. 若手教員早期育成プログラムによるサポート体制の一層の充実

- ・ 優秀教職員・マスター教員による公開授業（年間50回程度）
- 授業後に行われる「語る会」で直接学んだことが、若手教員の授業力向上への意欲づけ
- ・ 『危機管理』や『生徒指導』をテーマにした大学教授等によるオンライン講座を開講 など

4. 教員数・生徒数を踏まえた部活動の精選及び部活動指導員の積極的な活用に加え、部活動の地域移行に向けた実践研究

- ・ 部活動の地域移行に向け、運動部や文化部においてモデル校を指定し、調査・研究 など

5. 学校現場の業務縮減に向けた教育委員会の取組を更に進める。

- ・ 「石川県立学校の教育職員の業務の量の適切な管理等に関する規則」を制定・施行
- ・ 県立学校にICT支援員、教員総合研修センターにコーディネーターを配置
- ・ 外部人材（スクール・サポート・スタッフ、部活動指導員など）の継続・拡充配置
- ・ 可能な範囲で、提出書類の押印廃止
- ・ 勤務時間調査の簡易化や統合型校務支援システムを活用した市町からの報告方法の効率化 など

II 引き続き、国に対して定数改善計画の策定を要望していく。

- ・ 全国知事会や全国都道府県教育委員会連合会において要望 など

その他

- ・ 「教職員の多忙化改善に向けた3年間の取組 平成30年度～令和2年度 報告書」を作成
- ・ これまでの取組や今後の方針をまとめたリーフレットを作成、保護者や地域の方々へ配布
- ・ 教職員向けのクリアファイルを作成、配布

